

～予防接種の対象年齢と受ける時期のめやす～

定期予防接種

国や自治体が「受けるように努めなければならない」と強くすすめている予防接種です。規定の年齢での接種であれば費用は原則無料です。（指定医療機関外で接種する場合は、一部自己負担になる場合もあります。）

□ …無料で接種を受けられる年齢

■ …接種可能年齢のうち、受けるのが勧められている期間

↓ …好ましい接種時期

ワクチン	種類	出生時	3か月	6か月	9か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	標準的な接種年齢（月齢）とスケジュール
B型肝炎	不活化	1	2	3																		生後2～9か月までの間に、27日以上の間隔で2回接種し、初回接種から139日以上間をおいて3回目を接種します。
ロタ	ロタテック（5価）	1	2	3																		生後6週から32週までの間に27日以上の間隔で3回接種します。初回接種は生後6週から14週6日までに受けてください。
	ロタリックス（1価）	1	2																			生後6週から24週までの間に27日以上の間隔で2回接種します。初回接種は生後6週から14週6日までに受けてください。
小児用肺炎球菌	不活化	1	2	3		4																標準的な接種開始年齢は、生後2～7か月未満です。接種開始時期により接種回数異なります。詳しくは次ページの表をご覧ください。
五種混合（百日咳、ジフテリア、破傷風、不活化ポリオ、ヒブ）	不活化	1	2	3		4																初回接種は生後2か月から、20日から56日の間隔をおいて3回行い、追加接種は初回接種終了後12か月～18か月の間隔をおいて1回行います。
BCG	不活化			1																		生後5～8か月に達するまでの間に1回接種します。
麻しん風しん混合（MR）	不活化					1						2										1期 1歳の間に1回接種します。 2期 5～7歳未満の子で小学校就学前（保育園・幼稚園等の年長児期）の1年間（4/1～3/31）に1回接種します。
水痘（水ぼうそう）	不活化					1	2															生後12～15か月の間に1回接種した後、1回目の接種後6～12か月の間隔をおいて2回目を接種します。
日本脳炎（※注）	不活化				1	2	3						2									1期 3～4歳の間に6～28日の間隔をあけて初回接種（2回）を行い、初回接種終了後、約1年後に追加接種（1回）を行います。 2期 9～10歳未満の間に1回接種します。
二種混合（ジフテリア・破傷風）	不活化																2					小学・義務教育学校6年生に相当する子
HPV（子宮頸がん予防）	2価サーバリックス																					中学・義務教育学校1年生相当の女子 ▼3種いずれも1年以内に接種を終えることが望ましいとされています。 【2価：サーバリックス】 1回目から1か月後に2回目、1回目から6か月後に3回目を接種 【4価：ガーダシル】 1回目から2か月後に2回目、1回目から6か月後に3回目を接種 【9価：シルガード9】 1回目の接種を15歳未満で受ける場合 5か月以上開けて2回接種（5か月未満の場合は3回接種） 1回目の接種を15歳になってから受ける場合 1回目から2か月後に2回目、1回目から6か月後に3回目を接種
	4価ガーダシル																					
	9価シルガード																					

ワクチンの種類

ワクチンは、感染症の原因となるウイルスや細菌をもとに作られています。成分の違いから、大きく「生」と「不活化」に分けられます。

生ワクチン	毒性を弱めた生きた病原体でできたワクチンです。接種することで病原体に軽く感染したような状態になりますが、接種後の免疫は強くなります。生ワクチンには、注射生ワクチンと経口生ワクチンがあります。
不活化ワクチン	死んだ病原体や病原体の一部を集めたもの（病原体ではなく、免疫をつけるのに必要な成分のみ）でできています。体内で病原体が増えないため、免疫はつきにくく、複数回の接種が必要です。

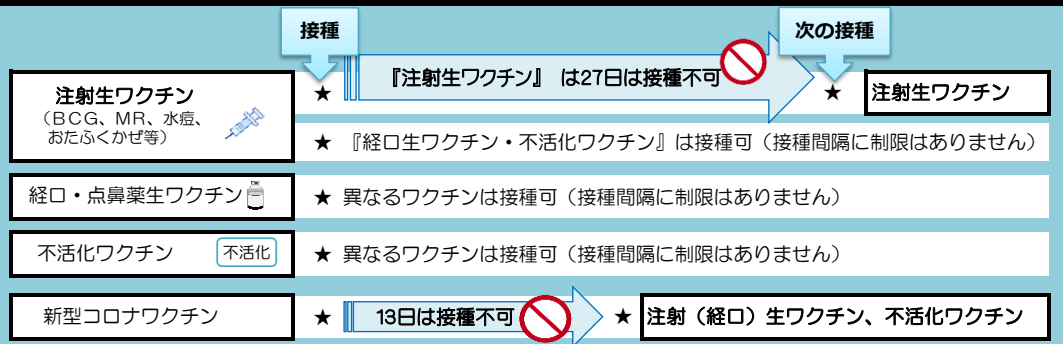
任意予防接種

個人で接種するかを判断し、費用も自己負担となる予防接種です。健康保険は通常適用されません。

ワクチン	種類	接種スケジュール
おたふくかぜ	注射生ワクチン	対象年齢は1歳以上で接種することができ、1回接種をします。日本小児科学会では2回の接種を推奨しています。
三種混合・不活化ポリオ（追加）	不活化	日本小児科学会では、三種混合と不活化ポリオワクチンもMR2期と同時期に接種することを推奨しています。
（※）季節性インフルエンザ	不活化	生後6か月以上で接種することができます。13歳未満は2～4週間間隔を明け、2回接種します。
新型コロナウイルス	mRNAワクチンなど	医療機関にご相談ください。

（※）季節性インフルエンザの助成については、担当課にお問い合わせください。

異なるワクチンの接種間隔について



同じ種類のワクチンの接種間隔について

同じ種類のワクチン接種を複数回受ける場合は、ワクチンごとに決められた間隔を守る必要があります。上記記載の「標準的な接種年齢（月齢）とスケジュール」を参考にしてください。